

を問う



小村 公洋

十七年度決算と今後の伯耆町について 人件費の更なる縮減

指定管理者の基本方針は

小村 公募の七議案のうち二議案が否決となった。町長は議会に対して説明が不十分であったと陳謝されたが問題点はどこにあったか。

町長 時間的に厳しいスケジュールになった。選定委員会についても日程に追われて委員全員がそろう日程が確保出来なかったことが挙げられる。
小村 否決となった二件については本年度一杯は直営で運営し、その間に検討したいとのことであるが次年度の当初予算編成は十二月より始まる。いつまでに結論を出すのか。

分に納得いただけることが大切であると考えている。

小村 指定管理者の見直しについて基本的な方針はどの様に考えているか。
町長 拙速に結論を出すことなく、議会の意見や現場の意見などを総合的に勘案いたし、改めて議会に協議を願いたい。

財政悪化の原因は

小村 合併初年度に対し合併効果が最大の時、財政指標が悪化した原因は何か、特に経常収支比率が百分近くになっており、財政の硬直化が顕著になってきている。その原因はなにか。

町長 国の三位一体改革により、普通交付税等の経常収入が減少したこと、起債償還のピークを迎え

ていることや、老人保健の医療費の増加、簡易水道、下水道などの特別会計への公債費の伸びにより繰出し金が増加したことが、原因となった。

小村 監査委員の意見書に「このままでは伯耆町を維持していくことが難しいものと思われ」と指摘されているが、とても重大な表現である。抽象的ではなく、町民が安心するような筋道を説明願いたい。

町長 率直なところ財政状況が厳しいことから、これまでのようなサーピスを今後も長期にわたって継続していくことは困難である。町民の皆様には財政的に非常に厳しい状況であることを理解いただき、ご協力をお願いしたい。

今後の職員体制は

小村 財政再建は喫緊の課題であるが昨年度実施した退職勧奨による早期退職者制度も対象者四十三名中二名であった。過

剰な職員体制を今後どうするのかが。

新規採用職員の抑制や臨時、嘱託職員の減員をなぜやらないのか。
町長 諸般の事情を勘案し、人件費の更なる縮減を図るために



おにっ子ランド

も再度、早期退職者制度を実施したいと考えている。
新規職員採用については最小限に留め、各年度最大二名で十年間をかけて、適正な職員定数に引き下げる。
嘱託職員、臨時職員については合併協議の尊重によるものである。